

No.3  
2026

# 福士の“F” Faith in the Future

一緒に青森の未来を創る  
地域の声を国の政策へ届ける  
課題と向き合い、毎月活動レポートをお届けします。

## 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

青森県版号外

立憲民主党 立憲民主編集部  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル7F  
Tel.03-3595-9988/fax.03-3595-9088  
立憲民主党 青森県参議院選挙区第2総支部  
〒030-0822 青森市中央1-5-1 中央1丁目ビル2F  
Tel. 017-718-8512/fax. 017-718-8513

# 6

June

5月24日発行

参議院議員

# 福士ますみ

活動レポート

Report

## 4/19【国政報告会 in 五所川原】生まれ故郷で初開催



五所川原市民学習情報センターにて、自身初めての国政報告会を開催しました。

五所川原は私が生まれた場所。当選後、初めての国政報告会をこの地で開催できたこと、本当に嬉しかったです。当日は花見日和の晴れやかな日曜日でしたが、そんな中、足を運んでくださった皆さんに、心からの感謝をお伝えしたいと思います。会はず、前衆議院議員・岡田華子さん(中道改革連合)からご挨拶をいただき、その後、私から国政報告をさせていただきました。

### 「国会の質疑で訴えたこと」

ひとつは「防災庁の創設と青森の複合災害」について。豪雪と地震が重なる「雪国特有のリスク」は、東京から見えないのが現実です。4月1日の災害対策・震災復興特別委員

会での質疑では、国と地方が「顔の見える関係」を築くことの大切さを強く訴えました。防災は、現場を知らなければ機能しません。青森の実情をきちんと国に届けていきます。ふたつ目は「核燃料の最終処分問題」について。処分地の決定から建設完了まで30年以上を要すにもかかわらず、何も決まらないまま期限まで残り19年。この深刻な矛盾を、4月2日の経済産業委員会で正面からぶつけました。六ヶ所村をはじめ青森が長年抱えてきた問題です。国が最終処分への明確なロードマップを示す責任を果たすべき、と強く主張しました。青森県民として、絶対に曖昧にさせるわけにはいきません。

### 「皆さんの声をたくさんいただきました」

質疑応答では、農業・漁業・地域の暮らしについて、さまざまな声をいただきました。直接お会いして話を聞くことの大切さを改めて感じました。「現場の声を国政へ」—この原点を胸に、これからも青森各地に足を運び続けます。



足を運んで下さった皆さんにお礼

### Profile プロフィール

1965年3月24日生まれ、五所川原市金木町出身、東北町立寒水小学校(現 東北小学校)、平内町立小湊中学校、青森県立青森高等学校(33回生)、日本大学法学部新聞学科(牧田ゼミ)(株)青森テレビATV(アナウンサー/報道記者/プロデューサー)(株)BLUE LINK PROJECT(「あおり藍」を活用した商品開発・販売)

### 福士ますみ事務所

〒030-0822 青森県青森市中央1丁目5番1号 中央1丁目ビル2階  
tel. 017-718-8512 / fax.017-718-8513  
e-mail fukushimasumi.office@gmail.com

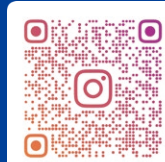
### 東京事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1102号  
tel. 03-6550-1102 / fax.03-6551-1102

公式HP



Instagram



FUKUSHI\_MASUMI

あおり  
愛



# 4/21【経済産業委員会】青森の"核のごみ"問題を追及

## 「青森県知事『搬入不同意』 再処理はどうなる!?!」

宮下青森県知事は2026年度分使用済核燃料のむつ市中間貯蔵施設への搬入を認めないと表明しました。搬入後の受け入れ先となる再処理工場の完成もまだ見通せない中、行き先がないまま受け入れるわけにはいかず、青森に核のごみだけが積み上がっていくような状況を、黙って放置しておくことはできません。青森県が搬入を認めない事態が長期化すれば、国の原子力政策は停滞します。まして六ヶ所再処理工場は27回も完成延期を繰り返しています。この状況をどう打開していくのか、赤澤経済産業大臣に問いました。

赤澤経産大臣からは「六ヶ所再処理工場の竣工を確実に成し遂げる必要がある。この現状を国として真摯に受け止め、更なる人材支援を行うと同時に、経産省と県そして事業者間でも状況報告と情報共有を図り、官民一体、総力を挙げて取り組んでいく。」と答弁がありました。

## 「国は前面に立って、本気の対応を!」

また、人材支援の一環として、この3月から4月にかけて国から電気事業者への働きかけにより、事業主体である日本原燃へ新たに16人が増員派遣されたとの報告がありました。まさに国や事業者の本気度が問われている実

情、これに限らず、引き続き一層の取り組み強化が求められます。赤澤大臣は「国が前面に立って責任対応を取り、国として本気で取り組んでいく。」と明言しました。

## 「最終処分計画は、 18年間も改定されていなかった」

最終処分法に基づく「最終処分計画」は5年ごとに見直し公表規定があるにもかかわらず、2008年の閣議決定以降18年間も改定されていないままです。本来なら改定して最終処分の開始時期や搬出責任などを示し、国として処分へのロードマップを明らかにすべきではないでしょうか。「最終処分は青森県だけの問題ではなく、原発の恩恵を受ける日本全体の問題です。」このことをしっかり申し上げ、青森は受け入れるだけの場所ではないことを改めて訴えました。



国の姿勢を追及する福士



質問に対し答弁する関係閣僚

## 4/26 陸上自衛隊弘前駐屯地 創立58周年記念

長年、「危険を顧みず、身をもって」という覚悟で、この地を守り続けてきた隊員の皆さんに、心からの敬意と感謝を申しあげました。誇りと安心を持って任務を遂行できる環境づくりに、国会で引き続き全力で取り組んでまいります。創立58周年、おめでとうございます。



## 4/29 第97回メーデー 青森県中央祭典で 連帯のメッセージ

連合青森・東青地協主催のメーデー中央祭典に出席し、約850人の参加者の皆さんと連帯のご挨拶を交わしました。物価高に負けない賃上げの実現、そして真の働き方改革の推進へー現場の皆さんと想いを一つに、力を尽くして参ります!



## 4/29 立憲民主党青年局・ 女性局街頭キャラバン in 青森

党青年局・女性局の街頭キャラバンを党県連の仲間たちと青森市(ドリームタウンAli前、石江交差点前)で開催。祝日とあって中高生も足を止めてくれ、車中からも盛大な手振りをいただきました。皆さんの「ここ」の声を聞き、声をかたちに変えて参ります!



## Message 福士ますみから皆さまへ

黒滝久志さん、五所川原市出身54才。農業を営む傍ら、市ボランティア連絡協議会会長、消防団分団部長、民生委員副会長、介護タクシー理事など、地域の現場をくまなく歩き続けてきた黒滝さんが、「暮らし・福祉を守る」を胸に、6月21日に投票が行われる五所川原市議会議員補欠選挙に立憲民主党公認で立候補します。「誰一人取り残さない福祉」を掲げる黒滝さんを、福士ますみも全力で応援します!

